



住まい備忘録 第25回

日本建築家協会 沖縄支部会員

育ち始めたプラン(島風(しまかじ))・土間の家 長谷部 廣 長谷部建築研究所

この規格住宅「島風



ウッドデッキ・庭・琉球ガラス

オール電化、対面型キッチン、大きな収納、大きなウッドデッキ、マルチスペースとして活用できる土間など、デザイン性とコストパフォーマンスを両立させた高品質な規格型住宅を実現しました。

(しまかじ)は、2005年、「経済的なクオリティハウス建設システムの構築および提供」をテーマに国土交通省の経営革新促進モデル事業として選定され、県内の建設会社社との企業連合と、(株)長谷部建築研究所のデザイン力とのコラボレーションの結果、誕生しました。

RC造平家建115平方メートル(35坪)販売価格は、当時1、650万円。コンセプトは①沖縄の風土に合った住宅・②低価格・③个性的という点であり、団塊世代のジュニアである30代がターゲットでした。

多くの知恵を集め、コストダウンを図り、品質の優れた住まいを目指し、

当時、私は、「島風への想い」として、『島の風が流れている。新しいエネルギーが運ばれる。ポーチをくぐり土間に入る。なつかしい空間、子供の頃の思い出。和室に腰かけよう。デッキの香り。しばし、

成長した規格住宅・2010

レットのテーマが「誕生」

静のやすらぎへの誘い。家族は笑っている。子供たちは伸びていく。今の「島の家」。暮らして喜びをはぐくむ「家」。と、言うコンセプトに並列する「想い」をこぼとして表現しました。その時以来、数件の「島風」が、2階建プランも合わせた誕生の機会を得て来ました。この規格住宅を発表した時のパンフ

でしたので初期の想いは実現しました。今年2010年6月、「島風」・土間の家が、クライアントのSさんの要望により、ご両親同居の二世帯住宅として成長して、完成しました。設計者としては、お孫さんも合わせると三世帯のご家族が住んで頂けるプランとして育ててくれたことに、大きな喜びを感じています。誕生した時にマルチスペースとして四帖半のスペースを準備していた空間が、ご夫婦の寝室として成長する機会を得たのです。住まい手と創り手のキャッチボールにより、「育(はぐくむ)島の家」に成長させて頂きました。感謝!!



島風：成長後のプラン